

昨夜はロビーでガイドとぼったり鉢合わせ。「ゴメン、実は私は以前北京に住んでいたもので。」とか何とかごまかして、飲み屋に行った。

我々はゆっくり独自に行動したいのであるが、ホテルの自動モーニングコールが、ツアー客用にセットされているようで、朝6時に起こされた。流石にスナック2レンチャン、老年にはこたえる。

朝8時に朝飯と思って食堂に行ったら閉鎖されている。団体専用の食堂でツアーが出て行くと閉めてしまうらしい。ツアーは毎朝7時半出発だ。近くのケンタッキーで朝食、出勤前のサラリーマン、OLが食べている。安くて美味しい。

10時過ぎにホテルを出て、「軍事博物館」に行った。修理中で半分くらいの展示しかないが、それでも相当広い。中国歴史、朝鮮歴史に詳しい息子は、色々と私に説明してくれる。ご満悦だ。そして入場料はなんと無料なのだ。中国政府としては、「栄光ある人民解放軍の活躍」を見てもらいたいのだ。身分証、外国人はパスポートの提示が必要だ。こういうところにはバックツアーは、絶対に来ない。見学者は、中学生の団体、地方からの団体客で結構、混んでいる。授業の一環としてカリキュラムに入っているのだろう。

息子が記念にキーホルダーと、「中国95式突撃歩兵銃」のミニチュアを買う。写真をごらん頂きたい。左の腕時計と比較しても大変小さなものだが、正確に出来ている。198元もした。この「突撃歩兵銃」が後で問題を起す。



戦車と退役軍人



中国95式突撃歩兵銃

博物館で歩き疲れて、綺麗な上海料理のレストランに入った。蟹のスープや、ビール込みの豪華なお昼を頂き、地下鉄に乗ろうとした。

なんとあの「突撃歩兵銃」が地下鉄の安全検査で引っかかった。誰が見てもミニチュアだが、安全検査員は判断が出来ないので、警察まで来てくれと言う。警察では、女性の警官がパスポートの提示を求め、どこで買ったか、弾は入っているか、どこに泊まっているか、など聞かれた。ひねくり回して、OKの返事を貰った。



中学生団体